

# 9月1日は防災の日

～あなたはどう過ごしましたか？～



**防災の日**は、台風高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、それらの災害に対処する心構えを準備する日です。92年前の9月1日、関東大震災が起きたこと、また、暦の上で台風の多い二百十日に当たることから、昭和35年(1960)に制定されました。

今年の9月1日皆さんはどう過ごされましたか？学校や職場の防災訓練に参加した方、家庭での備蓄品の確認した方、避難場所を家族で話し合った方など、さまざまだったことと思います。

**東京都**では、9月1日から防災ブック「東京防災」を、各家庭のポストへ届けています。これは首都直下地震等のさまざまな災害への事前の備えや対処法など、いざというときに役立つ内容になっています。

これに併せ、消防署では「東京防災セミナー」を9月6日(日)～10月14日(水)までの毎週日・月・火・水曜日に開催しております。(日曜・祝日 午前11時～正午 月曜～水曜 午後7時～8時)まだ参加されていない方はぜひ足を向けてみてください。

→問い合わせ先 成城消防署千歳出張所 Tel.3484-0119



## 9～11月の予定

- 9月21～30日秋の全国交通安全運動  
千歳船橋駅前広場
- 9月26～27日船橋神明神社例大祭  
船橋神明神社
- 9月 敬老事業
- 10月1～31日赤い羽根共同募金  
船橋会全域
- 10月5日(月) 定例常会  
船橋まちづくりセンター
- 10月18日(日) 古着古布回収フリマ  
船橋神明神社・船橋地区会館・千歳船橋駅前広場
- 10月19日(月) 防犯パトロール  
船橋会全域
- 11月3日(火・祝) 船橋ふれあいまつり  
希望丘公園
- 11月5日(木) 定例常会  
船橋まちづくりセンター
- 11月7日(土) 船橋小避難所体験  
船橋小学校
- 11月21日(土) 船橋会コンサート  
船橋小学校

**船橋会**では昨年度「防災マップ」を作成、配布をしました。マップには一時集合所・広域避難場所・避難所はもちろん、防火水槽や震災対策用井戸、スタンドパイプ、AEDの設置場所も掲載しております。ご自宅の近くにどのような施設があるか、ぜひ日頃より確認してください。

また「防災マップ」を多くの方に活用してもらえよう、今年度の船橋会防災訓練ではマップに基づき防災施設を回り訓練を行いました。(訓練の様子は2・3面をご覧ください。)

**家庭の備え**は災害復旧までの生活を自足するために、1週間分(最低3日分)を目安として家族構成に合わせて準備が必要となります。皆さんの家庭では十分な備えがありますか？身を守る防災用品の他に、日頃から食料品や生活必需品を少し多めに購入し、すべて使い切る前に買い足す日常備蓄も大切です。

**最後に** 発災直後から公助が始まるまで、住民同士による助け合いは必要不可欠です。日頃のご近所づきあいは防災面からみても大切なことです。船橋会ではさまざまな行事を通して人と人とのつながり、地域のネットワークを構築していくことができると考えています。



# 防災訓練開催

船橋会では7月5日(日)に防災訓練を開催しました。昨年度、作成した防災マップをもとに防災施設をめぐるスタンプラリー形式の訓練です。4箇所の一時集合所に集まった参加者はそれぞれのグループでスタンドパイプ・AED・防火水槽・井戸水の施設を回り、ゴールとなる池田児童遊園・船橋地区会館へ向かいました。

到着した池田児童遊園・船橋地区会館では船橋まちづくりセンター笹原係長のお話やAEDの使用法、スタンドパイプ・D級ポンプ操作方法など説明を受けました。



雨の中施設を回る参加者のみなさん



当日は朝からあいにくの雨模様となりましたが、幼児から大人まで約150名の方が訓練に参加くださいました。参加者からは「家の近くなのに設備があることに気付かなかった」と言った声も聞かれました。防災意識を高めるきっかけになったことと思います。

「通電火災の怖さ」についてのお話



震災対策用井戸は船橋会内に約20箇所



世田谷区では災害時の生活用水の確保のため、住民が所有している井戸を震災対策用井戸として指定しています。生活用水とは飲用以外の目的として洗濯やお風呂等に活用いただける水のことです。

AEDの使い方を聴く皆さん



AEDとは心停止状態にある心室細動を電気ショックによって除去し、心臓を正常な状態に戻す装置です。AED使用後は速やかに人工呼吸と心臓マッサージで拍動の再開を促す必要があります。

水消火器を体験





スタンドパイプは、消火栓にホース・筒先を結合することで、毎分100リットル以上の放水ができる消火用機材です。消火用機材としては軽量で操作も簡単、また消防車両が進入できない道路狭隘地域や木造住宅密集地域では、火元直近の消防水利を活用した有効な消火活動ができます。

消火栓の蓋をあけ、スタンドパイプを結合



スタンドパイプから放水!



D級ポンプの操作を教えてくださいました



防火水槽は消火栓が使用できなくなった場合に備え、地下に消火用の水をためた水槽です。この防火水槽から揚水し使用できるのがD級ポンプです。ホースや内燃機関を備えており、圧力をかけて放水する仕組みとなっています。

船橋地区会館正面入り口前の防火水槽



保存食袋(ハイゼックス)を使った炊き出し訓練



## 避難所の体験に来てください!

11月7日(日)10時から、世田谷区立船橋小学校を避難所とした訓練を開催します。例年、避難所運営訓練は運営者として船橋会役員ほか、各団体の方に運営訓練へ参加いただいております。今年度は運営スタッフとともに避難所に避難者として参加し、体験される方を募集します。

詳細は10月に回覧板や町会掲示板でお知らせしますので、ぜひご参加ください。

大震災で自宅が壊れた場合など、自宅にとどまることが難しい人が避難し、一定期間生活する場として、区立小中学校が避難所となります。

避難所の運営は町会などが主体となり動かしませんが、避難してきた住民が協力して運営行動を進めなければ秩序ある避難所が保てません。

多くの方に避難所について考え、体験していただくことは災害発生時の行動に役立つものと考えています。



# 第5回ちとふな盆踊り

8月16日(日)千歳船橋駅前広場にてちとふな盆踊りを開催いたしました。今年で5回目を迎えた盆踊りには沢山の方がご参加くださいました。皆さんに船橋の町の行事として受け入れていただいたことを感謝します。



船橋小3年生有志の皆さんによる「南中ソーラン」

盆踊り前から広場には沢山の人、人、人！



鼓友会の太鼓に合わせて盆踊りの輪が広がります。



模擬店の数も増え、幅広い年代の方に楽しんでいただきました。



提灯の取り付けをするふなばし体操サークルの皆さん

8月16日に向け、2日前から町には色とりどりの提灯が取り付けられました。すべて手作りの盆踊り、一つ一つが手作業で行われます。

船橋会から声が掛かった協力団体の皆さんがボランティアで設営や当日の運営、交通整理、後片付けまで行ってくださいました。中学生のボランティア団体の若い力もお借りしましたが、高齢の方にも多くの作業を担っていただきました。

来年、再来年とこれからも続けていくためにはもっと沢山の方の力が必要です。ご興味がある方、来年の盆踊りにお力を貸してください。一緒に町を盛り立ていきましょう。